

みやぎ・復興の歩み ココロアルイム

3

Contents

宮城県知事ごあいさつ — p.2

被害状況 — p.3

震災復興計画 — p.5

復興の進捗状況 — p.6

地域の復興状況（気仙沼・本吉エリア） — p.13

地域の復興状況（石巻エリア） — p.17

地域の復興状況（仙台沿岸エリア） — p.21

地域の復興状況（内陸エリア） — p.25

復興の歩み（年表） — p.27

宮城県への支援状況 — p.29

被災者支援情報 — p.30

ごあいさつ

宮城県に甚大な被害をもたらした東日本大震災の発生から3年が経過しました。宮城県では、皆さまからのたくさんのご支援や励ましの言葉に支えられながら、復興へ向けた歩みを進めてまいりました。これまでの心温まるご支援に、心より御礼申し上げます。

県内では、平成25年4月、一部の地区で災害公営住宅が完成し入居が始まり、6月には県内で初となる防災集団移転促進事業の宅地造成工事が完了するなど、被災された方々の住まいの復興がいよいよ本格化してまいりました。9月には「水産業復興特区」を活用した新たな漁業がスタートし、11月には新設された大型ハウスが立ち並ぶ大規模いちご団地で収穫したいちごの出荷が始まるなど、産業の再生も少しずつ前に進んでおります。

また、震災の記憶の風化が懸念される中、被災者自身が震災体験や復興の歩みなどを紹介しながら現地をまわる「語り部ツアー」なども行われ、被災地では、震災の記憶や教訓を風化させない取り組みも進められています。

特に今年度は、プロ野球東北楽天ゴールデンイーグルスが初の日本一に輝き、ソチ五輪フィギュアスケートで、本県出身の羽生結弦選手が男子シングル種目で史上初の金メダルを獲得するなど、被災地を大いに勇気づけてくれた、うれしい出来事もありました。

「みやぎ・復興の歩み3」は、平成25年3月から平成26年3月までの1年間の県内各地の復興の様子と、被災された方々が懸命に復興に取り組んでいる姿や思いなどを取りまとめました。

復旧・復興への道のりは長く険しいものですが、震災前の状態に戻す「復旧」とどまらず、将来を見据えた抜本的な再構築による「創造的復興」に向け、全身全霊を傾けながら取り組んでまいりますので、引き続き、被災地の復興に心をとめていただき、今後ともご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

宮城県知事 村井嘉浩



この冊子は、東日本大震災から3年が経過した宮城の復興の様子と、復興に向けた地域の取り組み（宮城県復興応援ブログ「ココロプレス」に掲載）を抜粋し、まとめたものです。

平成25年4月、県内で初めて災害公営住宅の一部が完成し住民が入居した山元町のまちづくり事業の様子。県内では、平成26年2月までに330戸が完成し、平成27年度末までに約15,000戸の住宅を整備する予定です。